

第12回行財政改革推進審議会での質問への回答

質 問	回 答																	
<p>【レクリエーション施設】 (足羽委員)</p> <p>・観光施設に「民営事業所あり」とあるが、同資料に民営（貸付）1とある。「民営事業所あり」というのは、この貸付の件であり、東海フォレストのことか。また地代を払っているということか。</p>	<p>・資料中の民営（貸付）1は、東海フォレスト（山小屋）ではなく、「南アルプス井川観光会館」を平成23年度に普通財産化し、「静岡市井川振興会（地元有志団体）」に貸し付けて事業運営を行っています。</p>																	
<p>【文化等施設】 ・動物園のコスト状況について (資料の修正について)</p>	<p>・資料を再確認し、純コストで約3.7億円、フルコストでは年間5億円程度の赤字でした。資料には臨時的歳入の「合併特例債」と「まちづくり交付金」が計上されていたため、下記の表のとおり修正いたします。（千円）</p> <table border="1" data-bbox="622 958 1503 1243"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名称</th> <th colspan="5">コスト状況</th> </tr> <tr> <th>純コスト</th> <th>減価償却相当額</th> <th>フルコスト</th> <th>利用者一人あたりフルコスト</th> <th>m²あたりフルコスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本平動物園</td> <td>372,851</td> <td>130,878</td> <td>503,729</td> <td>0.72</td> <td>44.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>純コスト(ランニングコスト)＝年間支出額－年間収入額 フルコスト＝純コスト（年間）＋減価償却相当額（年間）</p>	施設名称	コスト状況					純コスト	減価償却相当額	フルコスト	利用者一人あたりフルコスト	m ² あたりフルコスト	日本平動物園	372,851	130,878	503,729	0.72	44.9
施設名称	コスト状況																	
	純コスト	減価償却相当額	フルコスト	利用者一人あたりフルコスト	m ² あたりフルコスト													
日本平動物園	372,851	130,878	503,729	0.72	44.9													
<p>【文化等施設】 (土屋委員)</p> <p>・文化財施設に民間事業所なしとあるが、民間でもあるのではないか。 (資料の修正について)</p>	<p>・「民間人、民間企業等による文化財の所有・保存・展示等は有り」との表記に修正します。</p>																	
<p>【図書館】 (的場委員)</p> <p>・資料6-4の4ページの「施設の配置状況」では「単独4、複合8」となっているが、1ページの「施設一覧」の「建物構成」では単独が3、複合が9になっているので、どちらが正しいか確認していただきたい。</p>	<p>(第12回：会議当日の発言)</p> <p>・1ページの「南部図書館」が「複合」となっているが、これは建設当時視聴覚センターが併設されていたもので、現在は廃止しているため、「単独」が正しい。 (発言内容の訂正)</p> <p>・審議会の席上で、上記の発言をしましたが、施設内には「ホール」など図書館機能とは別の機能も備わっている上、今年度より「ひきこもりセンター」が複合化されたので、「複合化」との表記で正しいです。</p> <p>・配置状況については、資料を統一するよう修正します。</p>																	

<p>【図書館】 （木村委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代別の利用状況がどのように変化してきているか、将来的な需要予測がどの程度かといったデータがいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の推移等については、別紙のとおり。
<p>【駐車場・駐輪場】 （青木委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市内でも駐輪場は整備されてきているが、相変わらず放置自転車がたまりがち。まちづくりの観点からも非常に大きな問題である。その要因として、やはり駐輪場の不足が考えられる。他都市では地下に設置している例もあるが、土地や空間を有効活用し、さらに整備を進めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡中心市街地における放置自転車は、10年程前に比べ約半減しておりますが、以前として放置自転車がみられる状況にあります。 市においても放置自転車の受け皿となる駐輪場を整備しておりますが、利用率は低い状況にあるため、駐輪場管理経費の削減も含め、柔軟なサービス提供など、駐輪場の効率的、効果的な運営に向け、指定管理者制度導入を検討しているところであります。併せて駐輪場附置義務条例に基づき、商業施設や再開発事業等の民間施設においても、利便性の高い駐輪場の整備が進められています。 これらの他、自転車等放置禁止区域・規制区域等における放置自転車の指導・撤去や駐輪マナーの啓発等、総合的に放置自転車対策を進めているところです。
<p>【防災・消防施設】 （木村委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「設置目的」や「提供サービスの内容」では、急病人の搬送は行っていないかのように受け取れる。急病人の搬送も重要なサービスの一つであり、実態としても災害より急病による出動の方が多いのではないか。そういう活動がわかるように表記を変更できないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「提供サービスの内容」の部分をつまみやすくするため、資料の表記に「傷病等の救急患者搬送」を追記します。
<p>【その他施設（斎場）】 （的場委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管課の説明（民営化）を踏まえ、斎場の運営については、「マネジメントの方向性」が「継続」だけでは足りないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントの方向性に「民営化」を追記するか検討いたしますが、併せて答申書においてもご指摘いただきたく思います。
<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置状況の資料修正について 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料中の配置状況について、「単独」「複合」の施設数が一致していないところがありますので、整合するよう、資料全体を通じ再度確認し、修正します。

【図書館】

過去3年間の図書館の年齢別の貸出統計によれば、世代ごとの貸出数に大きな変化は無く、構成比が固定している傾向が見られ、将来的にも需要の変化は少ないと考えています。

世代別では、13歳から29歳の世代の利用が目立って少なく、一方、市が平成26年に行ったアンケート調査（子ども読書推進計画における調査）においても、読書離れの傾向を示す不読者の割合で小学生4.4%、中学生11.2%、高校生55.8%という結果が見られました。

双方の結果から、中学生から20代までの世代へ重点的な読書活動を促す取組が重要であると考えています。具体的には、児童・ヤングアダルト（YA）・成人等対象のニーズに合わせた資料展示、講座・行事、美術館等他機関との連携事業を実施していき、より多くの市民の図書館利用を目指し、市民の読書生活の充実を図っていきたいと考えています。

静岡市立図書館 年齢別貸出統計表（過去3年）

（単位：人）

年度	～6才	～9才	～12才	～15才	～18才	～22才	～29才	30才～	40才～	50才～	60才～	70才～	合計
平成24年度	308,335	275,821	217,576	100,299	66,946	82,889	201,321	718,518	803,615	581,452	731,408	406,789	4,494,969
平成25年度	305,071	270,844	209,284	95,214	63,346	81,038	195,845	670,898	819,905	583,936	756,621	444,932	4,496,934
平成26年度	288,120	257,925	210,481	91,006	61,079	73,344	174,514	618,332	808,148	577,626	759,996	484,072	4,404,643

